

事業番号	09 05 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検
事業名	農業農村の基盤整備事業	部局	農政部
		課・室	農地整備課
		実施期間	S25 ～
		E-mail	nochi @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題
<p>・県内の水田は、大規模な区画が少なく、区画50a以上の整備率は2％である。大型農作業機械の導入が困難なほ場も多く、過疎化・高齢化の進行により、効率的な農業生産に支障が生じている地域もある。</p> <p>・野菜や果樹など高収益作物の導入を可能にする、水田から畑地への転換を推進しているが、ほ場の土質や排水不良等の課題があり、進んでいない。</p> <p>・農業水利施設の多くが、耐用年数を超過する時期を迎えており、更新整備や長寿命化が急務となっている。</p>

2 事業目的
<p>・農地や農業用施設の条件整備を行うことにより、地域の担い手が効率的な農業を営むことができるようにする。また、地域の特性に応じた高収益作物の作付けを実現させる。</p> <p>・農業水利施設を補修・更新することにより、安定的な用水の供給を可能とするとともに、施設の損壊による災害を未然に防止する。</p>

3 事業目的を達成するための取組
<p>①生産効率を高める農地・農業用施設の整備</p> <p>・スマート農業技術の導入や担い手への農地の集積・集約化を可能とし、農業生産コストを削減するため、ほ場の区画拡大や用排水路の地中化を実施（国の補正予算を活用して、当初予算で予定していた箇所の一部について、令和8年度事業を前倒して整備を推進）</p> <p>・中山間地域において、生産基盤と併せて、集落道などの生活環境の整備を実施（国の補正予算を活用して、当初予算で予定していた箇所の一部について、令和8年度事業を前倒して整備を推進）</p> <p>※その他事業は当初予算のとお</p> <p>②収益性を高める農地・農業用施設の整備</p> <p>・高収益作物の生産に向け、水田から畑地への転換や畑地かんがい施設の補修・更新を実施（国の補正予算を活用して、当初予算で予定していた箇所の一部について、令和8年度事業を前倒して整備を推進）</p> <p>・ほ場の冠水による畑作物の品質低下を防止するための排水対策、農作物輸送に伴う荷傷みを防止するための耕作道を整備（国の補正予算を活用して、当初予算で予定していた箇所の一部について、令和8年度事業を前倒して整備を推進）</p> <p>③用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新</p> <p>・農業用水の安定供給と維持管理労力の軽減を図るため、農業水利施設の長寿命化を実施（国の補正予算を活用して、当初予算で予定していた箇所の一部について、令和8年度事業を前倒して整備を推進）</p> <p>・農業水利施設の省エネルギー化と農業者等の負担軽減を図るため、土地改良区に対し、農業用水需要ピーク期の電気料金高騰分の一部を支援</p> <p>※その他事業は当初予算及び9月補正のとお</p>



ほ場の区画拡大



畑地かんがい設備の整備



基幹的農業水利施設の整備

4 成果指標	(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)									
No.	指標名	単位	R4年度 実績	R5年度 実績 推移	R6年度 実績 推移	R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由		
①	農業生産コストを低減するためのほ場の区画拡大面積（累計）	ha	240	267 ↗	295 ↗	345	△	第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、R7年度の区画拡大面積（累計）を設定。		
②	収益性を向上させる畑地かんがい施設の整備面積（累計）	ha	2,269	3,132 ↗	3,178 ↗	2,571	△	第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、R7年度の畑地かんがい施設の新設及び更新を行う農地面積（累計）を設定。		
③	重要な農業水利施設の整備箇所数（累計）	箇所	48	60 ↗	66 ↗	55	△	第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、R7年度の重要な農業水利施設の整備箇所数（累計）を設定。		

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標											
No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346 (県推計)	2027 (R9)	3,700
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆再生可能エネルギー生産量	万TJ	2021 (R3)	3.0	2022 (R4)	3.0	2023 (R5)	3.1	2027 (R9)	3.7
1-3①	社会的なインフラの維持・発展										

6 事業コスト							(単位：千円、人)	
区分	予算額					決算額	職員数	
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額) うち一般財源			
R7年度	3,394,858	7,620,568	1,902,106	1,877,507	12,917,532	809,732	74.6	
R6年度	3,044,402	6,841,453	△ 5,817		9,880,038	773,584	6,483,078	71.3
R5年度	5,926,654	5,880,829	368,902		12,176,385	902,982	9,115,911	74.0

事業番号	09 05 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業農村の基盤整備事業		部局	農政部	課・室	農地整備課

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	農業農村の基盤整備事業		12,176,385 千円	9,880,038 千円	予算現額 12,917,532 うち今回補正額 1,877,507 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県営かんがい排水事業	直接	農業水利施設の更新・補修、管理の省力化 （国の補正予算を活用して、4地区について令和8年度事業を前倒して実施する） 実施地区 15地区（うち補正4地区）		
2	県営畑地帯総合土地改良事業	直接	畑地かんがい施設の更新、畑地の区画整理 （国の補正予算を活用して、3地区について令和8年度事業を前倒して実施する） 実施地区 11地区（うち補正3地区）		
3	経営体育成基盤整備事業	直接	水田の区画整理、用排水路・農道の整備 （国の補正予算を活用して、4地区について令和8年度事業を前倒して実施する） 実施地区 11地区（うち補正4地区）		
4	県営農道整備事業	直接	農道橋の耐震化、安全施設の整備 実施地区 1地区		
5	県営中山間総合整備事業	直接	中山間地域における農業生産基盤と農村生活環境の整備 （国の補正予算を活用して、5地区について令和8年度事業を前倒して実施する） 実施地区 10地区（うち補正5地区）		
6	団体営土地改良事業	補助金	小水力発電施設設置への支援 農業水利施設や農道の改修、区画整理への支援 （国の補正予算を活用して、55地区について令和8年度事業を前倒して実施する） 実施地区 111地区（うち補正63地区）		
7	県単農業農村整備事業	補助金	①土地改良区等が行う農業水利施設等の整備への支援 ②農業用水需要ピーク期の電気料金高騰分の一部を支援 実施地区 ①42地区 ②20地区（うち補正20地区）		
8	農村地域整備基礎調査事業	直接	農業農村整備事業の計画策定等に必要な基礎資料の収集整理（整備実績等の調査） 調査対象 77市町村		
9	地下かんがいシステム導入促進事業	直接	地下かんがいシステム「FOEAS」の実証試験の実施及び実証展示会の開催 実証展示会 1回		
10	信州棚田ネットワーク推進事業	直接	棚田保全団体と企業等とのマッチング 棚田パートナーシップ協定締結 1企業等		
11	ふるさと信州棚田支援事業	補助金	棚田地域における土地改良施設や農地の保全整備等を行う地域住民活動への支援 支援団体 10団体		
13	中山間地域の水田における用水管理の省力化事業 ～スマホで簡単らくらく水管理～	直接	自動給水栓を利用した田越しかんがいと自動分水システムのモデル実証及び啓発 実証実験 県内各地		
14	畦畔の緩傾斜化による草刈りの省力化事業	直接	既存畦畔を活用した自動草刈り機のモデル実証及び啓発 実証実験 県内各地		
15	農業農村整備GIS構築事業	直接	GISを活用した農業農村整備事業実績管理システムの構築 システムの構築		